

保護者の皆さまのご協力も大切です

子供たちの学習を補助 – 長さや面積を測る

子供たちは遊びの中で学習するものです。ブロックやリボン、粘土、組立て玩具などで遊び、いろいろ試しては失敗しながら、長さや面積について学んでいきます。

子供たちは、日常の遊びの中で物体の大きさや形、長さや幅、あるいはその組み合わせ方、積み重ね方などに気づいていきます。そうした発見や試みについて日頃から話し合うよう奨励してあげることが大切です。

子供たちは、長さや面積の測り方をどのようにして学ぶのでしょうか？

最初に子供たちは、目の前の物体を比較することを通して、「測定」について理解し始めます。例えば2つのブロックを手にして、1つはもう一方より長い、あるいは短いなどと言えるようになります。その後彼らは、3つ以上の物体を比較するようになります。

子供たちは、メートルやセンチメートルなどの正式な単位を理解する前に、様々な材料や物を使って遊び、実験してみることが必要です。例えばテーブルの長さを測る場合、定規を使う前に洗濯バサミやスプーン、本など手近なものを用いたり、手のひらを広げて試してみることが大切です。



保護者の皆さまのご協力も大切です

家庭ではこういったお手伝いができるでしょう？

- 粘土を使って長さの異なる「へび」を2匹作ります。一匹は「短い」、もう一匹は「長い」ということを一緒に比較し、話してあげましょう。
- 粘土で同じ長さのへびを2匹作ります。そのうち一匹をジグザクまたは曲がった形にして、お子さまに尋ねてみましょう。「どちらのへびの方が長いかな？」



- お子さまの手または足の周囲を縁取ってボール紙に描き、切り抜いてください。これを使って、テーブルまたはベッドなど物の長さを測りましょう。測る前に、ベッドの長さは「手」の長さの何倍あるか推測させてみてください。
- 傾斜のある場所でおもちゃの自動車を転がし、車の長さにして何倍進んだか測ってみましょう。
- テーブルなど、ものの周りを歩いて、一周するには何歩必要か話し合ってみましょう。
- お子さまの背丈を定期的に測り、その成長をグラフに記録しましょう。
- 家族みんなの背丈を測り、誰が誰より「高い」または「低い」か比べてみましょう。
- 植物の種を植える際、お子さまと一緒に棒を用いて、それぞれ植えた場所の距離を測りましょう。
- 新聞紙を用いて、テラスやテーブルなどの面積を測ります。全体を覆うには新聞紙が何枚必要か一緒に数えましょう。

保護者の皆さまのご協力も大切です



- 紙の上にくねくねした曲線を描くか、またはひもを曲線状に糊づけしてください。お子さまに見せ、「線で囲まれた」部分の内側に色を塗らせてみましょう。
- 新聞紙を床の上に広げます。その上に、本が何冊収まるか一緒に数えましょう。
- プレゼントを一緒に包装しましょう。包むプレゼントの大きさに対し、包装紙の幅や長さが十分あるかどうか話し合ってみてください。
- テーブルクロスや、車のカバーの大きさについて話し合みましょう。
- お子さまに、ペンキの缶に表示されている塗装可能面積を見せてください。塗装する壁の大きさに対して、ペンキが何缶必要か話し合ってみましょう。
- 色のついたスクラップ紙と糊、空き缶、コーンフレークの箱などをいくつか用意してあげましょう。お子さまは箱や缶にスクラップ紙を貼りつけて覆い、色とりどりに飾りつけて遊ぶことができます。